

博士課程

2019

授業科目 〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究所

授業科目〈シラバス〉について

この「2019 授業科目〈シラバス〉」は、平成 31 年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究 I	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究 II	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	22
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	23
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	24
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	25
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	26
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	27
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	28
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	29
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	30
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	31
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	32

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90247 (90218)	日本芸術文化学研究B (民族芸術文化学研究A)	2単位 後期 (4単位 通年)	1・2	講義	波平 八郎

※平成27年度以降の入学生：「日本芸術文化学研究B」を登録すること。

※平成26年度以前の入学生：「民族芸術文化学研究A」を登録すること。同一年度内に「日本芸術文化学研究A」（2単位）、「日本芸術文化学研究B」（2単位）の両方を履修して「民族芸術文化学研究A」（4単位）に読み替える。

■テーマ 日本文学作品（『南方録 覚書』）の講読

■授業概要

千利休が確立した茶の作法を伝えるとされる『南方録 覚書』を講読する。その際、茶の湯の理論を様々な芸術分野に適用できないか試みる。たとえば、茶の湯の「わび」という理念を文学や美術工芸の分野に適用できるかどうか試みる。（受講生の興味・関心に応じて講読作品を変更することがある。）

■到達目標

茶の湯の理念を通して、日本文学、その他の分野の芸術理念を理解する。

■授業計画・方法

『南方録 覚書』を逐条講読する。受講生は当該作品について授業中に自身の意見を発表する。また、受講生は分担してテキストを輪読する。

なお、講読するテキストについては、受講生の専門分野を勘案して、受講生と協議の上変更することがある。テキストが『南方録 覚書』の場合、次のような流れで授業を進めていく。

[後学期]	
1	後期オリエンテーション
2	雪の茶会の心得
3	雪の夜会の灯籠
4	茶室
5	不完全の美
6	名物の掛物
7	茶の湯における掛物
8	わび茶の料理
9	懐石の作法
10	茶壺の飾り方
11	捨壺
12	風炉
13	釣瓶水指
14	水指の用い方
15	まとめ・レポート提出

(定期試験は実施しない。)

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

レポートは、それぞれ関心のあるテーマをテキストから選んでレポートする。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（50%）、レポート（50%）を総合的に判断する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（作品）等

□教科書 なし

□テキスト 筒井紘一訳注 『利休聞き書き 「南方録 覚書」』（講談社学術文庫）

□参考文献 適宜指示する。